

盛岡みたけ支援学校

研究テーマ

「仲間と共に、社会の中で主体的に生きる

児童生徒の育成」

～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた
授業改善を通して～（2年研究1年次）

1 全校研究

(1) 主題設定の理由

学校教育目標「一人一人が輝く存在として、主体的に生きられるよう社会的自立を支援する」を実現するために、「社会の中で自分らしく主体的に生きていく姿」を目指す児童生徒の姿として研究を進めていく。「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点で授業改善を行い、新しい時代を生きる児童生徒の確かな成長につながる授業実践に取り組んでいく。

(2) 研究内容・方法

次の授業で主題に迫る授業改善を行う。

小学部：生活単元学習 中学部：作業学習

高等部：作業学習

次の取り組みを通して「社会の中で自分らしく主体的に生きていく」姿を実現させる。

- ・授業の課題分析、参観、情報交換、ワークショップ、研究授業等を通して授業の改善を図る。
- ・PDCA サイクルによる授業づくりを推進し、授業のポイントを明らかにし、全体で共有する。

(3) 研究仮説

「仲間と共に、社会の中で主体的に生きる」資質・能力を育むため、発達段階に応じた「主体的、対話的で深い学び」の視点をもって授業改善を重ねていくと、児童生徒が身の回りの人や物事に主体的に関わり生きていこうとする姿が実現されるであろう。

(4) 全校研究会・授業研究会

①第1回全校研究会 7月14日(水)

今年度の研究についての提案・協議

②全校授業研究会 11月19日(木)

高等部作業学習木工班「冬休み前保護者懇談会で販売しよう」

研究会では「目標を意識、理解できる」「進んで作業に取り組める」「やりがい、達成感、喜びをもてる」ための指導の在り方を、全職員が10グループに分かれて協議し授業の改善案を発表し合った。

③第2回全校研究会 2月18日(木)

1年次研究のまとめと2年次の提案・協議

2 各学部の取り組み

(1) 小学部

- ・研究を通して目指す児童の姿
「ひと、もの、こと」に興味・関心をもち、進んで活動に取り組む姿
- ・生活単元学習の授業作りのポイントの活用
- ・授業改善検討会の実施(計3授業)

(2) 中学部

- ・研究を通して目指す生徒の姿
自分の役割や仕事に見通しをもち、意欲的・積極的に精一杯頑張る姿
- ・中学部「作業学習」の授業づくり10のポイントの共有化と活用。
- ・KJ法を用いた分析
- ・授業研究会の実施(計4授業)

(3) 高等部

- ・研究を通して目指す生徒の姿
自ら進んで作業に取り組み、自分の力を存分に発揮し、喜びをもって働く姿
- ・作業学習における大切にすべき事項「みたけスタンダードR2版」に沿った授業づくり
- ・主体的・対話的で、深い学びの視点に基づいた「みたけスタンダード」の改善
- ・授業研究会の実施(計3授業)

3 講演会

新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

4 研修会

(1) 校内研修

①職員研修の日 7月27日(月)

校内の職員が講師となり、研修を行った。

- ・水泳、ヨガ・ストレッチ、さんさ踊り・太鼓、フライングディスクの研修
- ・小学校の学習について

②校内タブレット講習会(計3回)

- ・学部ごとにタブレット端末でiMovieを使った動画の編集や活用について研修した。

(2) 研修報告会 2月18日(木)